

## 行政からの提案内容

## (1) 着地型観光プログラムの開発とイベントの周知及び実施

担当部署	商業観光課	担当者	西海 豊（直通 35-8107）
事業概要 ・目的	<p>市民が市内で余暇を過ごすことや市外から平塚を訪れる人を現在よりも増やし、市内経済の活性化と平塚ファンを増やすことを目的に、平塚ならではの観光プログラムを企画し、参加者が現地集合・解散する新しい観光の形態である「着地型観光」を進めていきたい。</p> <p>平成32年度に10個のプログラム、以後年に10個程度ずつ新しい体験型プログラムを開発することを目指し、年に1回（1～2か月の期間）に集中して開催するほか、将来的には30個程度のプログラムを上限とし、実施プログラムを審査会で決めるなど、プログラム内容を磨きあげられるような仕組みづくりも検討したい。併せて、随時、受付・実施をするプログラムの開発、事業者が観光客を受け入れるおもてなしの心も育てていきたい。</p> <p>この事業を実施し、成果を上げるためには、魅力的なプログラムの開発が不可欠であり、従来ある観光プログラムの磨き上げと、新しい観光プログラムの開発、関係者との調整が必要となる。</p> <p>観光業は、その地域でなければ体験できないことであるため、将来に渡り、地域経済の基盤となりうる。製造業などのように、より人件費等の安い地域へ工場が移転し産業の空洞化が生じるということはない。将来、定住人口の減少が平塚市でも予測されている中で、交流人口を増やし、地域経済を支えるものとして本事業に取り組む必要がある。</p> <p>【参加者数目標】（1プログラム20人と仮定）  平成32年度 10プログラム 200人参加  平成33年度 20プログラム 400人参加  平成34年度 30プログラム 600人参加</p> <p>参加者の口コミやSNS等で情報が発信されることで、参加者数以上に平塚の魅力が市内外に広まっていくことを期待している。</p>		
市民活動団体に期待する役割	<p>(1)平塚の地域資源を生かしたものの又は、平塚でなければ体験のできない観光プログラムの開発及び、情報発信による集客効果  (2)プログラム実施者、関係者との調整  (3)その他(1)(2)を進めていくにあたり、行政との調整に関わること</p>		
市の役割	<p>市内地域資源の情報収集の協力  庁内との連絡調整、事務の補助、団体の活動のPR</p>		
協働により解決したい課題等	<p>市民それぞれが持つ知識や経験、人脈などを生かして、行政とは違う視点で新しい観光プログラム作りに取り組むことで、従来、行政等が主導で行ってきたものとは異なる、斬新で魅力的な体験型観光プログラムを開発できるものと期待される。また、そのプログラムを市民の目線で魅せ方も工夫して情報発信することで、平塚市の魅力を市内外に広く周知できるものと考えている。</p>		

概算事業費	30年度予算額		1,626,000円 0円
	(内訳)		
	(内訳)		
	項目	32年度 予算額	備 考
	委託料	500,000円	①チラシ（デザイン+印刷 A3 二つ折り 単価7円、10,000部） =70,000円 ②ホームページ（作成 350,000円+年間管理80,000円） =430,000円
	人件費	696,000円	①事務員（週3回、1人、5か月） 問い合わせ対応、記録写真、情報発信等 1,000円/1h×6時間×週3回×20週=360,000円 交通費 1,000円×週3回×20週=60,000円 計420,000円 ②有償ボランティア（週3回、2人、4か月間+随時） プログラム実施者と打ち合わせ、情報発信等 【プログラム開発】（随時） 1つのプログラムに3回打ち合わせをし、10個のプログラムを 作ると想定 1,000円/1日×週3回×1人×10プログラム=30,000円 【開始前から実施終了まで】 1,000円/1日×週3回×12週×2人=72,000円 【プログラム開催後】 1,000円/1日×週3回×4週×2人=24,000円 ③プログラム実施者へ事前説明会講師、組織運営・プログラム 作りアドバイザー 150,000円
	備品購入 費	200,000円	パソコン+プリンタ 200,000円
	通信費	180,000円	携帯電話 15,000円（月額・端末代込み、通話かけ放題オプション）×12か月
事務用品	50,000円	事務用品代	
補足事項			

※概算事業費の内訳は事業提案の参考例です。